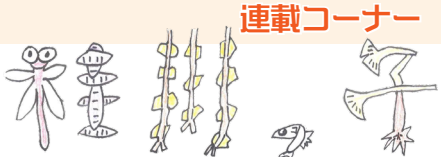
School

教育情報 **桂川っ子**

【問合先】社会教育課　社会教育係　☎65・2007



題字：桂川中学校美術部
髙瀬　稜介 さん

「やってみたい！」から広がる子どもたちの世界

社会教育課　社会教育係

子どもたちにとって、「やってみたい！」という気持ちは、新しいことに出会い、興味や関心を広げる大切なきっかけになります。

いつも過ごしていた時間が、誰かと一緒に何かに取り組んだり、好きなことに夢中になったりする時間に変わる。そんな時間の中には、普段とは少し違った楽しさや発見があるのではないでしょうか。

桂川町教育委員会では、こうした子どもたちの気持ちを大切にし、地域の方々との関わりやさまざまな経験を通して、一人ひとりが自分の「好き」や「得意」を見つけ、可能性を広げていく機会をつくっています。その活動が、けいせん「夢・人・未来塾」アンビシャス広場（以下、「夢・人・未来塾」）です。

「夢・人・未来塾」は、平成14年度の学校週5日制の導入をきっかけに、「地域で子どもを育てる」という考えのもと始まりました。地域の方々が持つ知識や技術、経験を生かし、子どもたちにさまざまな体験の機会を届ける場として、20年以上にわたって続いています。

現在は、茶道や華道などの伝統文化、キャンドルアートや料理などのものづくり、ソフトボールやグラウンドゴルフなどのスポーツと、幅広い分野の塾を行っています。

一つの塾に年間を通してじっくり取り組むことも、興味のある塾をいくつか選んで参加することもできます。子どもたちがそれぞれの興味や関心に合わせて、好きなことを楽しめるのも、「夢・人・未来塾」の魅力の一つです。塾では、友だちと一緒に、作法を身に付けたり、作品を作ったり、スポーツを楽しんだりと、いろいろな分野に親しみながら時間を過ごしています。

また、毎年開催している桂川町文化祭では、制作した作品の展示や、日頃の練習を生かした呈茶などを行っています。地域の皆さまにも、子どもたちが普段どんな活動をしているのかを知っていただく機会となっています。

「夢・人・未来塾」に参加する中で、初めは教えてもらったとおりにやっていたことも、何度かやっていくうちに、自分なりに工夫したり、考えて挑戦したりするようになります。

そうしていくうちに、「もっとやってみたい！」という思いが生まれるのかもしれません。その思いを次の経験につなげられるよう、子どもたちがさらに取り組める機会を広げていきたいと考えています。

桂川町教育委員会では、地域の皆さまとともに、子どもたちの「やってみたい」から始まる一歩を大切にし、その先に広がる新しい出会いや経験をつくっていきます。

地域の宝である子どもたちへの応援をよろしくお願いいたします。



▲「夢・人・未来塾」の様子